



あなたのやる気に火をつけるガキビズ

ガキビズレポート Vol.5

2022年7月～2023年6月

大垣ビジネスサポートセンター(ガキビズ)

大垣ビジネスサポートセンター(ガキビズ)について

概要



**大垣ビジネスサポートセンター(ガキビズ)は
売上アップに特化した中小企業経営者等の
ための公的な経営相談所です!**

ガキビズは2018年7月にオープンした、すべての
中小企業・個人事業主及び創業希望者を応援する
相談所です。

強みやセールスポイントを見つけ、お金をかけずに
売上げを伸ばす方法を一緒に考えます。

支援内容

経営全般

経営全般に関する相談、支援

起業・創業

ビジネスプランのブラッシュアップ
など起業・創業の支援

販路拡大

売上げアップにつながる販路拡大の
具体的な提案による支援

新商品・新サービス開発

セールスポイント、ターゲットの明確化
による新商品・サービス開発支援

新分野進出

新分野進出に向けマーケティング
リサーチや連携・マッチング等の支援

情報発信

ホームページ作成や、SNS等を利用し、
情報発信を強化する支援

主な対象地域

大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町
安八町・揖斐川町・大野町・池田町・本巣市

スタッフ紹介



センター長

正田 嗣文 (写真中央)

プロジェクトマネージャー

松浦 俊介 (写真右から2人目)

アドバイザー

若山 謙一 (写真右端)

IT・デザインアドバイザー

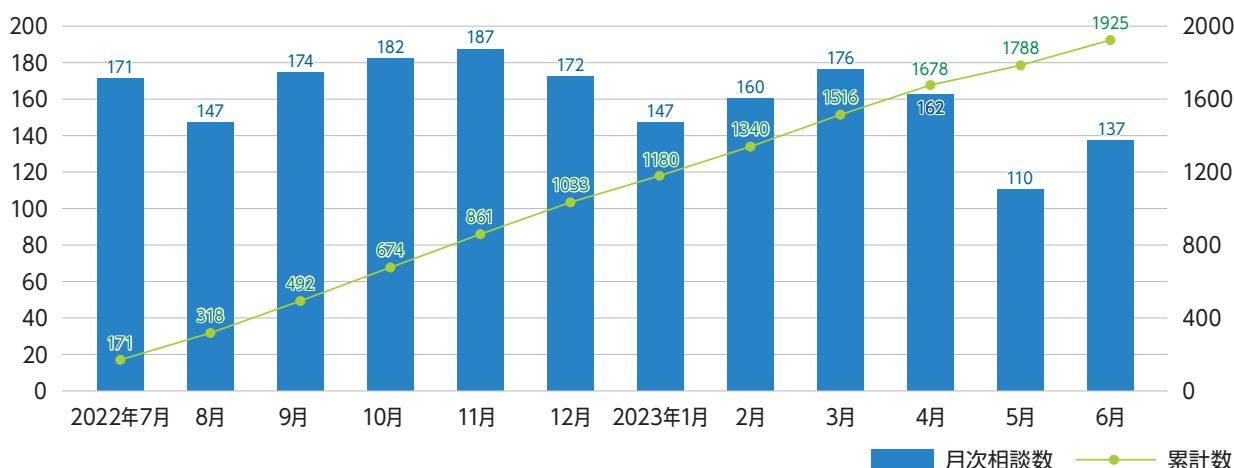
岡田 庸平 (写真左端)

ITアドバイザー

山口 仁美 (写真左から2人目)

5年目の実績 (2022年7月～2023年6月)

■ 相談件数



5年目の相談件数

1,925件

5年目の相談事業者数

536事業者

開設(2018年7月)からの
累計相談件数

9,484件

開設(2018年7月)からの
累計相談事業者数

1,726事業者

相談者の満足度
(2021年10月～2022年9月)

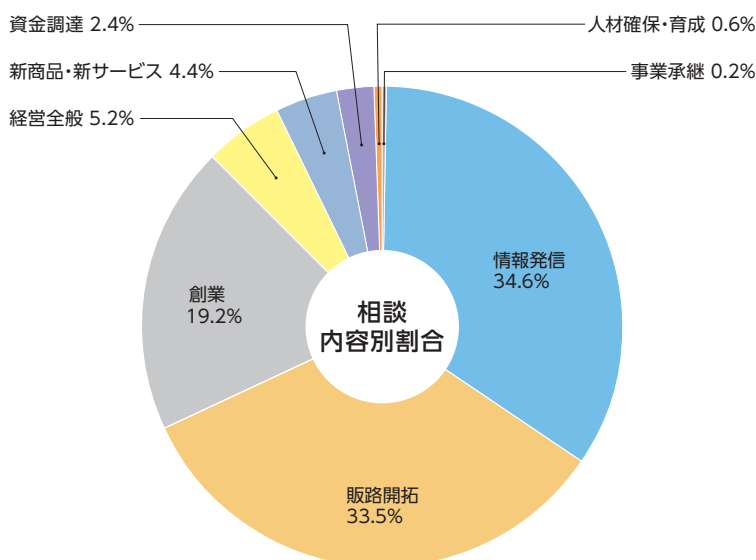
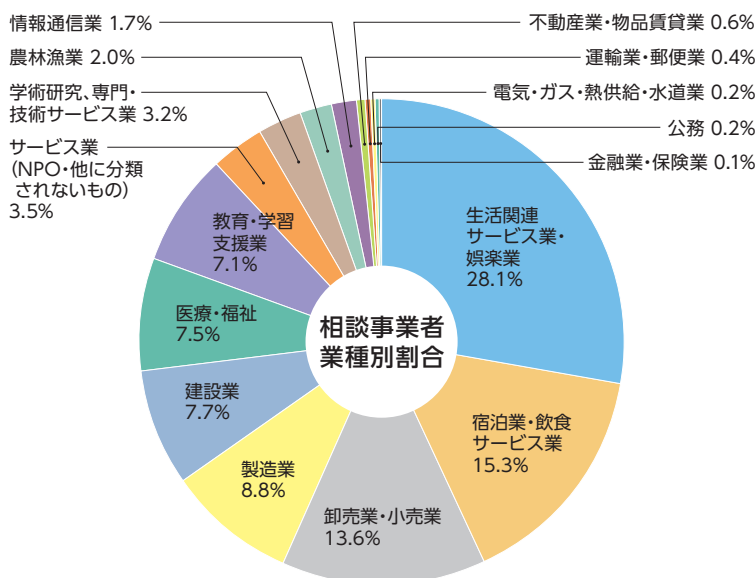
94.6%

5年目のセミナー開催回数
(参加人数)

14回(220名)

5年目のメディア掲載件数

220件



支援事例

中部カラー工業(株)

概要

中部カラー工業(株)では、金属の表面に模様をコーティングする特殊な技術を持っていました。この技術は、金属の表面を石や木材、布のように見せることができるもので、非常にユニークな技術です。しかし、新しい加工技術のため、その存在が広く知られていませんでした。また、既存の取引先以外にどのようにして販路を広げるかという課題もありました。



支援ポイント

Gaki-Bizでは、この技術の特徴を端的に伝えるネーミングを提案しました。相談者が納得いくまでディスカッションを行い、その結果「ISSIN」という名前が生まれました。「ISSIN」は、「一新」を意味し、金属の表面を一新するというこのサービスの特性を表現しています。また、ロゴもシンプルで覚えやすいデザインを提案しました。

成果

名前とロゴが決まったことで、社内では「自分たちの独自のサービスができた」と再認識できました。また、社員全体も協力し合える雰囲気になり、これまで生産能力の3割ほどしか稼働していなかったものが、年内には7~8割まで埋まる見込みが出てきました。さらに、人々の生活を豊かにする商品を手掛けてみたいというビジョンを持つようになりました。

支援事例をライター目線で詳しく紹介

サービスを端的に表現したネーミングで、成長を加速させる。

名は体を表す、と言うが、ビジネスの世界ではむしろ逆かもしれない。商品やサービスの実体を、どのような言葉、名前で端的に表現するか。短く、強い言葉で伝えるにはコツがある。だからこそ、コピーライター、ネーミングライターという職業が存在するのだろう。

特殊メイクコーティング「ISSIN(イッシン)」。皆さんはこの名前からどのような商品もしくはサービスを思い浮かべるだろうか。

これは、大垣市昼飯町にある中部カラー工業株式会社が昨年9月から新たに始めた、金属の表面に塗装・印刷を施し、石や木材、布のように加工するサービスだ。

続きを読む



支援事例

中嶋いづみ

概要

中嶋いづみさんは、左官アートという独自の表現方法で作品を制作していますが、その事業化に向けて悩んでいました。左官アートは一言では説明できないものであり、自分の思いやコンセプトを言語化することが難しいためです。また、アートの評価や販売方法も分からなかったため、ビジネスとして成立させることに不安がありました。



支援ポイント

Gaki-Bizは、左官アートに対する情熱や想いを理解し、事業化に向けてサポートしました。まずは、中嶋さんの作品を見てディスカッションを重ね、コンセプトの提案をしました。これにより、自分の作品を分かりやすく伝えることができるようになりました。次に、Gaki-Bizのネットワークを活かし、ギャラリーでの個展の開催を提案しました。個展では、プレスリリースによる情報発信を行い、多くの人に左官アートを知ってもらう支援を行いました。

成果

Gaki-Bizの支援により、左官アートの事業化に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。個展では、多くの反響や感想を得ることができ、自信が増し、モチベーションが高まりました。また、アート制作のオーダーが入ったり、今後は自身のギャラリー開設や海外展示を行いたいという展望も持つようになりました。Gaki-Bizは、中嶋さんの左官アートに対する可能性や魅力を引き出すきっかけになりました。

支援事例をライター目線で詳しく紹介

アートも分かる、稀有なビジネスサポートセンター。

「その一言で、この人はアートがわかる人だと思いました。」

左官アート『koteto』を手掛ける中嶋いづみさんは、Gaki-Bizの正田嗣文センター長と初めて電話で話をした時のことをこのように振り返った。

飛沫を上げながら打ち寄せる波のようでもあり、静かに流れる雲のようでもある。雪山のようにも見えるし、飛行機から見下ろす海のようにも見える。

2023年5月に大垣市情報工房1Fギャラリー他で行われた初の個展「藍波」。中嶋さんが無心に、鏝の赴くままに描く作品を、言葉で説明するのは難しい。中嶋さん本人も、「自分の気持ちが穏やかな時ほど、完成した絵は激しいものになったり、自分でも驚くことがあります」というほど。その日のエネルギーの有り様によってキャンバスは果てしなく変貌する。

続きを読む



支援事例

(株) 柏鳥堂 (はくちょうどう)

概要

大野町で和菓子店を営む柏鳥堂は、地域とのつながりを深めるために地域性のある商品開発などを行っていましたが、コロナ禍でお店に来てもらえない状況が続き、地域外の方にも知ってもらい販路を開拓する必要がありました。また、和菓子店は特に夏場に売上が下がる傾向にあるため、夏場の販売にも課題を抱えていました。



支援ポイント

Gaki-Bizとの相談を通じて、同店では地域の魅力を映すユニークなお菓子の開発に取り組みました。具体的には、「銅鏡チョコ」の販路開拓、「家紋チョコ」や「KUZシャキン」(家紋モチーフの葛アイス)の新商品開発などが行われました。これらは、地元の食材や歴史を活かすことに加え周知のためのメディア戦略を意識したSNS映えする商品作りをしました。また、Gaki-Bizからは商品のプロモーションについてもアドバイスを行い、パッケージデザインや情報発信のサポートを行いました。

成果

Gaki-Bizの相談を通じて、話題となる新商品を開発することができました。「銅鏡チョコ」や「家紋チョコ」はバレンタイン・ホワイトデーのギフトとして売り出され、新聞やラジオで取り上げられるなど大きな反響がありました。また、「KUZシャキン」はSNSで度々話題となり、全国各地より問い合わせが入るようになりました。通信販売もスタートし、遠方の方からも購入していただけるようになって商圏を広げることができました。これらの取り組みにより、同店は地域とのつながりも深めながら新たな販路を開拓することができました。

支援事例をライター目線で詳しく紹介

コロナ禍を逆手に、ネット販売拡大に繋がる菓子を開発。

まもなく創業100年を迎える老舗和洋菓子店「岐阜・大野町まごころ菓柏鳥堂」。地域とのつながりを深めたいと考えていた4代目“は、相談に訪れたGaki-Bizで思いがけず商圏拡大につながる発想を得た。

続きを読む

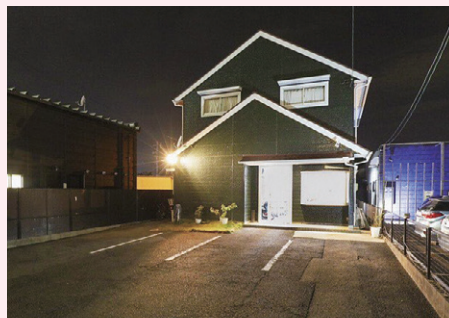


支援事例

HAIR SPACE FOREST (ヘアスペースフォレスト)

概要

HAIR SPACE FOREST (ヘアスペースフォレスト)の代表・森献之^{けんし}さんは、理容師・美容師の両資格を活かした新しいサービスや店のイメージアップに挑戦したいと思っていました。また、経営者としてもう一皮剥けたいという思いがあり、新しいアイデアやビジネスチャンスを探していました。



支援ポイント

Gaki-Bizでは、森さんとの会話からお店の強みやユニークさを見出し、それをサービスに落とし込むことで差別化を図ることを提案しました。具体的には、人生の一大事に挑む男性を応援する「決戦前フルコース」、女性の顔の産毛を剃る「母の日シェービング」などのサービスの開発を支援しました。また、内容をプレスリリースにまとめるサポートを行いました。

成果

「決戦前フルコース」は、新聞にも取り上げられ、野球選手や受験生など多くのお客さんに利用されたほか、「母の日シェービング」は、10人以上が新規顧客として利用、その後もリピーターとして来店しています。理容師にしかできないシェービングという技術やサービスをアピールすることで、理容業界のイメージアップにも貢献することができました。経営者としてステップアップすることができ、現在はスタッフの採用や店舗の拡大など、さらなる発展に向けて取り組んでいます。

支援事例をライター目線で詳しく紹介

理容師・美容師の両資格を持つ強みと店主の人柄からサービスを開発。

国道258号沿いにある理美容室「HAIR SPACE FOREST (ヘアスペースフォレスト)」の代表・森 献之^{けんし}さんは、不思議に思っていた。

「大垣青年クラブの先輩たちが最近よく新聞に取り上げられている。どうしてなのだろう？」行動力ある森さんは、すぐに横田仏壇店の横田伊左嗣^{いさつ}さん、川崎文具店の川崎紘嗣^{ひろつぐ}さん、坪井鋸金の坪井英倅^{えいせ}さんに連絡。3人から返ってきたのは「ガキビズ、知らないの？」という言葉だった。

Gaki-Biz (ガキビズ)? 調べてみると、どうやら中小企業経営者や個人事業者のビジネスをサポートしてくれる場所らしい。ちょうど「経営者としてもう一皮剥けたい」と考えていた時期とも重なり、森さんは間髪入れずに予約を取った。

続きを読む





【ロゴに込めた思い】

赤は、ガキビズがあふれる情熱で相談者をサポートし、最初の文字「G」に矢印で売上げUPへの期待感を表現しています。中心の三本のラインで、企業、商工会議所、行政を表現し、一体となって中小企業や小規模事業者を支援していくイメージで、デザインされております。

大垣ビジネスサポートセンター（ガキビズ）

〒503-0803 岐阜県大垣市小野4丁目35番地10
大垣市情報工房2階

TEL・FAX：0584-78-3988

E-mail：gaki-biz@mb.ginet.or.jp

営業時間：月～金曜日 9:00～17:30



Gaki-Biz
ホームページ



Facebook



Instagram



You Tube

運営主体：大垣地域経済戦略推進協議会